

## 公開講演会

「中国との向き合い方ー単純な脅威論に惑わされるなー」を開催

5月28日(土)、中国政治研究の第一人者、天児慧(あまこ さとし)早稲田大学教授による公開講演会「中国との向き合い方ー単純な脅威論に惑わされるなー」を、徳島大学・常三島けやきホールで開催します。「中国の脅威」とよく言いますが、その本当のところはどうなのか、安保法制はその「中国の脅威」に対応する手法として意味があるのか、など考えます。

1. 日時 平成28年5月28日(土) 13:30~16:45
2. 場所 徳島大学・常三島けやきホール(地域連携大ホール)
3. 内容

発展する経済、強まる軍事力、すれ違う歴史認識——。台頭する中国に対して、期待と同時に不安も持たれています。とくに昨年、可決された安保法制は「中国の脅威」に対抗して日本の安全を守るため、と目されています。しかし「中国の脅威」の中身はなんなのでしょう。安保法制のような武力中心の手段は有効なのでしょう。長い付き合いのある隣国として、私たちは中国とどのように向き合うべきなのでしょう。そんな疑問に、現代中国政治に関する研究で名高い、天児慧・早稲田大学教授がわかりやすく答えます。

後半のパネル討論では、中国史が専門で「徳島県日中友好協会」会長の葭森健介・徳島大学総合科学部教授、長年中国支援の活動をしている市民団体「内蒙古愛陽教育経済支援協会」の上田勝久・理事長を交えて、意見交換します。

※この行事は特定の政党や立候補予定者の主張・運動とは無関係です。

※添付の資料は案内チラシです。

## お問い合わせ先

部局名 総合科学部

責任者 教授 饗場 和彦

担当者 同上

電話番号 088-656-7186

メール aibak@tokushima-u.ac.jp

早稲田大学教授

# 天児 慧 公開講演会

発展する経済、強まる軍事力、すれ違う歴史認識——。  
台頭する中国に対して、期待と同時に不安ももたれています。  
とくに昨年、可決された安保法制は「中国の脅威」に対抗して  
日本の安全を守るため、と目されています。  
しかし「中国の脅威」とは本当なのでしょうか。

その中身は何か、  
安保法制は有効なのか、  
どのように中国と  
向き合うべきなのか。  
そんな疑問に、  
中国研究の第一人者が  
わかりやすく  
答えます。



# 中国との 向き合い方

AMAKO Satoshi

天児 慧 (あまこ さとし)

早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授。

専門は政治学、現代中国論。博士(社会学・一橋大学)。

『日中対立—習近平の中国をよむ』(筑摩書房、2013年)、

『日中「歴史の変わり目」を展望する』(勁草書房、2013年)、

『「中国共産党」論—習近平の野望と民主化のシナリオ』

(日本放送出版協会、2015年)など著書、論文多数。

13:30-15:00  
天児 慧 講演会

15:15-16:15

パネル討論

天児 慧氏 (早稲田大学教授)

葭森健介氏 (徳島大学総合科学部教授)

上田勝久氏 (内蒙古愛陽教育経済支援協会理事長)

16:15-16:45 質問タイム

単純な  
脅威論に  
惑わされるな

日時: 2016年 5月28日(土) 13:30-16:45

場所: 徳島大学総合科学部・常三島けやきホール

入場無料、予約不要、無料駐車場

主催: 徳島大学・国際政治学研究室 / お問い合わせ: 同大学教授 饗場和彦 tel088-656-7186、aibak@tokushima-u.ac.jp

